



STOP! 介護崩壊 介護ウェーブ2009推進ニュース —介護ウェーブの“Big Wave”をおこそう!—

取り組みを具体化し500,000筆の署名を集め多くの介護改善要求の声を国会に届けよう!

2月4日昼、介護ウェーブ街頭アピール行動を実施!!

山梨民医連介護事業所・病院職員60人が参加し、介護改善を求め訴えました(山梨)

山梨民医連の介護事業所・病院職員が、2月4日(木)昼、甲府駅信玄公像前で介護ウェーブ街頭アピール行動を行ないました。この日の行動は、60人が参加し、8人の介護職員が、09年4月

の介護報酬改定で

「利用料が上がったため、サービスを変更せざるを得なかった」「利用できるショートステイやデイサービスを探すなかで受け入れてもらえない」「介護保険や後期高齢者医療制度の保険料が増えた為、サービス利用を控えなければならない」など利用者や事業所の現状をリレートークで繋ぎながら介護保険制度の改善を訴えました。

また、4月10日に開催予定の「第2回やまなし介護フォーラム」の宣伝チラシと介護改善署名チラシを配りながら、その場で署名への協力を呼びかけ70筆集めることができました。



(山梨民医連介護ウェーブ推進 NEWS No.2 2010年2月5日より)

介護保険制度の矛盾、利用者の困難事例から訴える!(街頭宣伝ルートークから一部抜粋)

『社会全体で介護を支えるという目的で始まった介護保険制度だったのに、実際は使えない制度になっているという実態をぜひ知ってもらいたい。何かの支援が必要な人に必要なサービスが提供され、そのひと生きていける制度となるように一緒に考えてください!』

事例①

要介護5の90代女性は、ヘルパー・デイサービス、訪問看護や福祉用具など、限度額いっぱい使っていましたが、4月の改定で限度額をオーバーしてしまいました。限度額内におさめるためには毎週来ていた訪問看護を一週間おきに減らさなければなりませんでした。

事例②

60歳の要介護4の男性で、生活保護を受給。昨年と同じ回数・時間でヘルパー・デイサービス・訪問看護を介護保険で利用していたが、4月からの改定で一割負担の限度額からオーバーしてしまいました。サービスを今以上に減らす事も出来ず対応を市の職員と一緒に考えました。幸いにも市の協力もあり介護保険から一部障害者サービスへ急遽移行することができ、直接利用者が受けるサービスを維持することができました。



継続した取り組みで、在宅腹膜透析者にも、ごみ袋支給が決定！

要介護3・4・5で常時オムツ使用者には熊本市の有料ごみ袋の支給があります！（熊本）

熊本市では、昨年 11 月からごみ袋が有料化され、市民への負担となっています。しかし、要介護 3・4・5 の方で、常時オムツ使用されている方にはゴミ袋の支給制度があります。

12 月議会では、在宅腹膜透析の方が、操作時にオムツを使用している実態を訴え、議会で支給が決定しました。共産党熊本市議団と一緒に取り組んだ成果です。

吸引器の購入をめぐって、益田市議と田口ケアマネジャーが熊本市と交渉！

「この制度で経費を節減し、厚生労働省にほめられている。希望する業者に頑張って貰うしかありません」

障害福祉サービスの 1 つである、日常生活用具支給で、在宅の方の吸引器購入申請をしました。申請者は、毎日、何回も吸引が必要な方で、購入後のメンテナンスをキチンとする業者からの購入を希望しましたが、「競争見積もり制度だから、本人が希望する業者は選べない」と言わされました。

そこで、益田市議と一緒に、障害福祉課に直談判。「利用者の希望に沿うことが大事でしょ！」と益田市議の迫力に担当者はタジタジしながら、「この制度で経費を節減し、厚生労働省にほめられている。希望する業者に頑張って貰うしかありません。」の一転張り。現行の制度では、購入とメンテナンスが分けられ、故障時は、別の業者に代替機を依頼し、二重の手間と費用が発生します。

利用者には使いにくい制度であり、改善を求め、今後も交渉を進めていきます。（田口ケアマネ談）

（くまもと介護ウェーブニュース No.24 2010 年 2 月 2 日より）

ナース&介護ウェーブに「わたり福祉会」から最高の21名が参加！

一筆一筆の署名と、「頑張ってください」の一言に、参加した職員は励まされた署名行動（福島）



2009 年 11 月 14 日（土）福島県医労連と福島県民医連の共催で『ナース&介護ウェーブ』が開催されました。県連 3 カ所（福島市・会津若松市・いわき市）に看護師、介護職員など 87 名が参加し、902 名分の署名が寄せられました。

福島市では当日まで雨が降り続き、気温だけではなく参加者のモチベーションもぐっと低くなりましたが、職員の思いが届き、午後から奇跡的に雨があがり、吹き付ける風は冷たいものの開催することができました。

民医連からは福島医療生協、ぶらんたん薬局などが参加し、医労連の参加者とあわせて総勢 50 名を超える職員が『看護師増員！』『介護職員待遇改善・人材確保！』と街頭で呼びかけを行いました。

中でも、わたり福祉会は管理者から介護現場で働く新人職員まで、総勢 21 名が参加しました。管理部の社保活動に対する協力はもちろんのこと、この間の法人内で取り組んできた学習や社保活動からこれだけの参加者を募ることができました。

この日、福祉会は『介護保険制度、介護職員待遇の改善を求める署名』に取り組みました。署名行動が初めての慣れない職員も多い中、通行人に声をかけることから理解を求める所まで、一生懸命『自分の言葉』で伝え、署名への呼びかけを行いました。たった 1 時間の署名行動でしたが、福祉会だけで 143 筆の協力を得ることができました。署名に協力してくれた方々の一筆一筆の署名と、『頑張ってください』の一言に、参加した職員は励まされた署名行動となりました。（福島民医連社保ニュース 創刊号 2009 年 12 月 8 日より）



お問い合わせは、「介護ウェーブ推進本部」事務局：山平・名波まで

TEL 03-5842-6451 / FAX 03-5842-6460 / E-mail min-kaigo@min-iren.gr.jp